

大江戸御町中様益御機嫌能

罷御座恐悦至奉存候随て私義

是迄御ひるき尊き御蔭を持まして

役者之數と入御團■か御取立之

御余光るを心魂にてつし難有仕合に

奉存候升最此度無余義■福にて

當狂言を御名残りといたしまして上坂

仕御入共親仁左衛門追善かた／＼用事方付

次第又々罷下り御座候に相成下問不相勢

御臈貞御取立之程偏願上殊に御名残

おし御■存希上候

八代目 我童